

「釧路湿原自然再生協議会」

第20回 湿原再生小委員会

資 料

平成30年6月15日

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

釧路湿原自然再生協議会

－第20回湿原再生小委員会－

日時：平成30年6月15日（金） 13：30～16：00

場所：釧路地方合同庁舎 7階 共用第5会議室

----- 議 事 次 第 -----

1. 開 会
2. 議 事
 - 1) 達古武湖自然再生事業について
 - 2) 平成30年度広里地区自然再生事業について
 - 3) 幌呂地区湿原再生事業等について
 - 4) その他
3. 閉 会

----- 配 付 資 料 -----

- ・ 第20回湿原再生小委員会 資料 (資料1)
- ・ 出席者名簿 (資料2)
- ・ 座席表 (資料3)
- ・ 説明資料(1/3) 達古武湖自然再生について (資料4)
- ・ 説明資料(2/3) 広里地区自然再生について (資料5)
- ・ 説明資料(3/3) 幌呂地区湿原再生について (資料6)
- ・ 第19回湿原再生小委員会 ニュースレター (参考)

釧路湿原自然再生協議会
第20回湿原再生小委員会 出席者名簿

■個人(11名) (敬称略、五十音順)

No	氏名	所属
1	伊藤 毅	上智大学 国際教養学部 国際教養学科 准教授
2	植村 滋	北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター
3	木村 勲	
4	櫻井 一隆	
5	清水 信彦	
6	新庄 久志	釧路国際ウェットランドセンター技術委員長 (環境ファシリテーター)
7	杉澤 拓男	
8	照井 滋晴	特定非営利活動法人 環境把握推進ネットワーク-PEG 代表
9	野本 和宏	釧路市立博物館
10	針生 勤	一般財団法人釧路市民文化振興財団 生涯学習推進アドバイザー
11	平間 清	(有)平間ファーム

■団体(6団体) (敬称略、五十音順)

No	団体/機関名	出席者名
1	釧路国際ウェットランドセンター	事務局長 菊地 義勝
2	釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会	阿部 博喜
3	公益財団法人北海道環境財団	安田 智子
4	特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所	渡會 敏明
5	特定非営利活動法人 タンチョウ保護研究グループ	百瀬 ゆりあ
6	特定非営利活動法人 トラストサルン釧路	理事長 黒澤 信道

■オブザーバー(1機関) (敬称略)

No	団体/機関名	出席者名
1	標茶町農業協同組合	代表理事組合長 千葉 孝一

■関係行政機関(4機関) (敬称略)

No	団体/機関名	出席者名
1	国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部	治水課長 石澤 肇
2	環境省 釧路自然環境事務所	統括自然保護企画官 徳田 裕之
3	釧路市	環境保全課 主査 浅利 宏史
4	釧路町	経済部産業経済課 商工観光係 主事 大野 誠也

湿原再生小委員会の検討経過

	議事
第1回 H16. 2. 17	1) 全体構想と小委員会との関わりについて 2) これまでの調査・検討経緯について (1) 広里地区湿原再生について (2) 幌呂川地区湿原再生について (3) 雪裡樋門湛水試験について 3) 今後の調査・検討方針について
第2回 H16. 6. 25	1) 平成15 年度の調査・検討成果について 2) 平成16 年度以降の調査・検討方針について 3) 全体構想との関わりについて
第3回 H17. 5. 11	1) 小委員長選出について 2) H16年度調査検討結果とH17年度調査検討計画について (1) 釧路湿原の面積について (2) 釧路湿原全域動植物調査の概要 (3) 広里地区 (4) 幌呂川地区 (5) 関連する農業整備事業について (6) 雪裡樋門地区
第4回 H20. 3. 3	1) 幌呂地区の変遷と現状 2) 幌呂地区で生じた現象と課題 3) 幌呂地区の湿原再生目標の設定 4) 広里地区の湿原再生
第5回 H21. 3. 18	1) 幌呂地区の湿原再生目標の概要 2) 幌呂地区 平成20 年度の調査結果 3) 平成21 年度の予定
第6回 H22. 9. 2	1) 幌呂地区湿原再生について 2) 広里地区湿原再生について 3) 釧路湿原の面積について 4) 5年目の施策の点検について
第7回 H23. 1. 19	1) 幌呂地区現地植生回復試験について 2) 幌呂地区湿原再生について 3) 5年目の施策の振り返りについて
第8回 H23. 4. 27	1) 幌呂地区現地植生回復試験について 2) 幌呂地区湿原再生のリファレンスサイトについて
第9回 H23. 10. 20	1) 幌呂地区湿原再生（基本方針）について 2) 幌呂地区湿原再生（実施方針）について 3) モニタリング計画について 4) 広里地区自然再生について（旧農地区域の湿原への再生、ハンノキ林の取扱いの検討） 5) 釧路湿原の面積について
第10回 H24. 1. 18	1) 幌呂地区湿原再生実施計画（案）について 2) 達古武湖における自然再生の取り組みについて 3) 釧路湿原の面積について

湿原再生小委員会の検討経過

	議事
第11回 H24. 11. 8	1) 幌呂地区湿原再生における今年度の実施予定等について 2) 達古武湖自然再生事業実施計画（案）について 3) 広里地区湿原再生事業実施計画の策定について
第12回 H25. 1. 24	1) 幌呂地区湿原再生における未利用排水路の埋め戻しについて 2) 達古武湖自然再生事業実施計画（案）について 3) 広里地区自然再生における今年度調査実施状況について
第13回 H25. 12. 2	1) 幌呂地区湿原再生における事業実施箇所の状況報告と今年度の実施内容について 2) 達古武湖自然再生における今年度調査等と南部湿地対策工事の概要について
第14回 H26. 1. 28	1) 広里地区湿原再生について
第15回 H26. 12. 24	1) 幌呂地区湿原再生における事業実施箇所の状況報告と今年度の実施内容について 2) 達古武湖自然再生における今年度調査実施状況等について 3) 広里地区自然再生における今年度事業内容について
第16回 H27. 12. 18	1) 幌呂地区湿原再生における事業実施箇所の状況報告と今年度の実施内容について 2) 達古武湖自然再生における今年度調査実施状況等について
第17回 H28. 11. 29	1) 幌呂地区湿原再生における事業実施箇所の状況報告と今年度の実施内容について 2) 達古武湖自然再生における今年度調査実施状況等について
第18回 H29. 3. 10	1) 第23回釧路湿原自然再生協議会の概要について 2) 平成28年度幌呂地区自然再生工事の土砂置場について
第19回 H29. 12. 12	1) 幌呂地区湿原再生における事業実施箇所の状況報告と今年度の実施内容について 2) 達古武湖自然再生における今年度調査実施状況等について 3) 広里地区湿原再生における実施内容の報告等について
第20回 H30. 6. 15	1) 達古武湖自然再生における達古武地域の事業振り返り及び実施計画（追記）について 2) 広里地区湿原再生における平成30年度広里地区自然再生事業について 3) 幌呂地区湿原再生における幌呂地区湿原再生事業について

第19回湿原再生小委員会の発言概要と今後の検討方針

	指摘事項	対応方針
達古武湖	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的に富栄養化をどのように抑えていこうと考えているのか。湖沼内部に溜まった栄養塩はどうするのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養塩の対策については、湖内及び河川の状況把握、高濃度土壌の除去を実施しているところである。 ・湖沼内部に溜まった栄養塩の対策を含めた長期的な対策については、今後の検討課題と考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・水質の改善は事業以外の要因が多いため、目標と事業の位置付けを整理してほしい。 ・今後のスケジュールや順応的管理のスパンの説明があると議論しやすくなると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の目標は、達古武湖に流入する栄養塩類の流入負荷の低減とヒシ以外の水生植物が安定的に生育できるような環境の保全・復元である。 ・再生手法としては現段階で確立したものがないことから、短期的なスケジュールで実施しているところである。再生手法が確定した段階で中長期的スケジュールを提示したいと考えている。
	<p>ヒンが生えているところは共通して釧路川に近く、氾濫した際に泥が溜まったことが原因ではないかと思う。</p>	<p>釧路川の影響は、過年度調査の結果から達古武湖の総負荷量のうち10%程度と把握している。</p>
	<p>開発で土砂が流れ込み水深が浅くなったこと、伐採をして森林性の腐植土が蓄積したことなども含めて検討する必要がある。</p>	<p>湖の浅化については認識しており、引き続き底質の組成調査及び水深の変化等を調べて、その原因について究明していきたいと考えている。</p>
	<p>専門家にヒアリングを行い、科学的な意見に基づいた報告を次回してほしい。</p>	<p>有識者の意見などについて第2期達古武湖自然再生事業実施計画に反映した。</p>
	<p>達古武は元々リンの自然由来の濃度が高い。土砂の発生源対策を考えた方が良い。</p>	<p>達古武川上流域の環境省所管地における対策と併せて、今後の方針を検討する。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・シラルトロ湖でも達古武湖と同じ時期に富栄養化があったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シラルトロ湖について、富栄養化が進展した明確な時期等を記載した文献は確認できなかった。
広里地区	<ul style="list-style-type: none"> ・広里の実験の課題と成果、教訓をまとめてこれからの事業に活かしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広里事業の成果は次年度以降、関係者への聞き取りを含め、まとめる予定。
	<ul style="list-style-type: none"> ・表土はぎ取り試験区の植物調査を定期的実施してほしい。 ・市民が参加して行えるモニタリング方法を検討してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表土はぎ取り試験区を含む植生調査は次年度以降実施予定。 ・市民参加型モニタリングはタンチョウとの関係等を考慮しながら検討したい。
幌呂地区	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂置場について、ツルハシナイ川以外の場所などに移動できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の土砂置場は鶴居村と新たに探して見つけた。今後も鶴居村と協議して決めていく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・掘削した土砂が客土であれば栄養塩が多く含まれているのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は土砂溜溝で採水確認を実施し、色や臭いに異常がないことを確認している。来年度、水質調査を行い次回小委員会で報告する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・幌呂地区は客土していないと聞いている。事実確認をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の記録を調べた結果、客土ではなく、排水路を掘削した際に敷均されたものであった。
	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、幌呂地区で雛連れのタンチョウを確認した。今後工事を進める際には配慮してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に厳冬期の施工のため営巣やヒナの子育てに影響がないよう配慮している。今後も相談しながら進めていく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自然再生地が湿地林にならないよう、近隣の湿地林箇所と良い湿地箇所を調査して環境を良い湿地に近づけてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地下水位などを確認しながらモニタリングを進めていく。